



みすどかる

住所:須坂市須坂 780
印刷:須坂小学校職員室
発行責任者:小松賢吾(校長)

季節の変わり目です

朝夕はぐっと冷え込むようになりましたが、日中は気温も上がり、体調管理のむずかしい時期になりました。私も、眠りにつくときには暑さを感じるのですが、朝方には寒くて目を覚ますようになってきました。着るものや寝具など、むずかしい時期です。秋の花粉症のため、調子が出ない人もいます(私も、、、)。食欲の秋、読書の秋、さまざまな秋がありますが、秋には秋の良さを満喫できるといいですね。

くめぎの森体験フェスティバル

以前行われていたPTA祭りに変わり、昨年度からPTAと学校の共催で参観日を兼ねて行われている体験フェスティバル。今年は11の講座と1年生講座、2年生講座がありました。ご参加いただいた、保護者の皆様、ご協力いただいた講師の皆様、本当にありがとうございました。

子どもたちには、小さいうちからできるだけさまざまな実体験をもたせてあげたいのですが、授業として学校で行えることには限界があります。それを打ち破る意味でも、この体験フェスティバルは大変有り難い企画です。どのくらいの大人が、自分でフラワーアレンジメントをしたことがあるでしょう？ 石のはんこを彫ったことがあるでしょう？ 非常食として釜ゆでにしたお米を炊いたことがあるでしょう？ パラリンピック種目のボッチャに取り組んだことがあるでしょう？ 学校ではなかなかできない実体験の場として、自分が選んだ体験をさせていただきました。今年は3つの講座に支援学校の児童生徒が参加しましたが、PTAとの共催なので、来年度はもっと両校の児童生徒や保護者が交流できる場にもなっていくことに期待しております。

保護者の皆様と子どもたちが交替で楽しそうに羊毛フェルトや和紙ちぎり絵に取り組む、保護者の皆さんに助言をもらいながらかんくずを使ったカーネーションやバルーンアート、土鈴や万華鏡を制作する、一緒に身体を伸ばしてリフレッシュする、紙芝居をまったり一緒に聞く、一緒にチャイティーに舌鼓を打つなどする姿がとても素敵でした。ペンキ塗りの講座では、校庭への地下道を華やかな場によみがえらせてくれています。今後、両校の子どもたちでさらにこの地下道を素敵な場所に仕上げていかれたらと思っています。時々地下道の様子ものぞいてみてください。





全ての講座の写真を紹介できず済みません

共にある学校として

先週から今週にかけて、支援学校の秋の学校公開を行いました。今回は近隣の幼保園や児童センター職員、ぷれジョブ関係者の他、他校の校長先生やPTA役員の方たちにも参観していただきました。特に小学校にお子さんがあるPTA役員の方たちからは、「一緒に生活している支援学校の子どもたちのことがよく分かった」「見て良かった、もっと小学校の保護者の方にも見ていただくと良い」という感想をいただきました。元々この地域で一緒に暮らしている子どもたち、そして今一緒に生活している子どもたちです。実施方法は工夫しつつ、本校在籍期間中に少なくとも一度は、小学校の保護者が支援学校の生活の様子を、支援学校保護者が小学校の生活の様子をそれぞれ見る機会がとれたらと思っています。そして、ゆくゆくは、両校の良さを全ての保護者の皆様で共有し、どちらの学校の保護者も両校の良さの説明ができる、そんな学校になれたらと思っています。よりよい両校の在り方を保護者の皆様にも一緒に考えていただけたらとありがたいです。よろしく申し上げます。

連絡・お願い

須坂小学校吹奏楽部の今後の活動について

4,5年生も加わった練習が本格化して大所帯となり、子どもたちの出す音も日に日に力強さが増してきています。活動が充実してきているのは本当にありがたいことです。しかし、引き継いでからの絶対的な練習量が多くとれていないため、曲としての仕上がりはこれからと言った状況があります。例年はえびす講などにも参加しておりましたが、本年度は参加を見合わせ、まずは音楽会での発表を目指して取り組んでおります。活動が軌道に乗り、レパートリーも増やすことができれば、今後は対外的な演奏も再開していく予定です。移行期の本年度については、活動が十分ではないかもしれませんが、子どもたちが自信をもって参加できる、子どもたちが満足できる、といった子どもたちにとってよりよい活動にしていくため、ご理解とご協力をいただけたら幸いです。